



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年4月25日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ッ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

四半期報告書提出予定日 2024年4月26日

配当支払開始予定日 2024年5月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の業績(2023年9月21日～2024年3月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	48,956	4.1	1,232	95.9	1,300	64.7	911	6.2
2023年9月期第2四半期	47,022	0.6	628	6.7	789	7.3	858	42.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	120.73	
2023年9月期第2四半期	108.78	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
2024年9月期第2四半期	39,351		15,806			40.2
2023年9月期	41,049		15,674			38.2

(参考)自己資本 2024年9月期第2四半期 15,806百万円 2023年9月期 15,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		5.00		27.00	32.00
2024年9月期		20.00			
2024年9月期(予想)				30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年9月21日～2024年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	0.5	2,000	27.4	2,100	15.0	1,500	718.4	201.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は2023年10月23日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。2024年9月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	7,729,720 株	2023年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	385,946 株	2023年9月期	360,280 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	7,552,517 株	2023年9月期2Q	7,894,804 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い、行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進んだものの、国際情勢の緊迫化やエネルギー価格の高騰、継続的な物価上昇等があり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、急速な円安の進行、原油価格、原材料価格の高騰により、幅広い品目において、相次いで値上げが続き、消費者の節約志向、低価格志向が一層高まったこと、更には業種業態を超えた販売競争が一層激化するなど厳しい経営環境が続いております。

当社が2店舗出店している石川県では、1月1日に「令和6年能登半島地震」が発生し、能登地方を中心に甚大な被害に見舞われました。当社では、地域のお客様の「生活のよりどころとなる店」として、速やかに店舗の営業再開を行うとともに、出店地域の自治体との災害協定に基づく災害救援物資の供給をすることができました。

このような状況のもと、当社は、収益力の強化を最重要課題とし、進行中の中期経営計画(2026年9月期まで)の下記施策に積極的に取り組んでおり、営業利益率3.00%以上の早期達成を目指してまいります。

a. 改装の実施

既存店活性化により客数・売上増を図るため、ワクワク感が感じられる売場を目指し、改装を実施いたします。その中で、41期以降に改装を実施した瑞穂店・伊賀店の改装効果を検証し、成功事例を他店舗にも展開してまいります。

b. P B商品開発強化

当社にしかない価値あるP B商品を開発し、目的来店性・粗利率アップを図ります。アパレルを中心に商品開発の強化を行い、特に開発が進んでいなかった婦人服を中心に開発を進めております。

c. R-9 (R=Revolution 人件費9億円削減)

人口減による人手不足・労働単価上昇への対応として機械化等を推進し業務の合理化を図ります。一部店舗では、キャッシュレス専用セルフレジでの現金決済を可能として、セルフレジの利用客数の増加を図っており、また精肉部門では輸送態勢の見直しを実施し、チャンスロス・ロスの削減及び店舗での作業時間の短縮を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高が48,956百万円(前年同四半期比4.1%増)、売上総利益は11,369百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。営業利益は1,232百万円(前年同四半期比95.9%増)、経常利益は1,300百万円(前年同四半期比64.7%増)及び四半期純利益は911百万円(前年同四半期比6.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1,698百万円減少し、39,351百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,339百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1,829百万円減少し、23,544百万円となりました。これは主に買掛金が661百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ131百万円増加し、15,806百万円となりました。これは主に四半期純利益が911百万円となり、配当金の支払が208百万円、自己株式の取得が578百万円あったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ1,339百万円減少し、5,044百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は357百万円(前年同四半期は936百万円の使用)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1,309百万円、減価償却費709百万円があった一方、売上債権の増加額87百万円、棚卸資産の増加額215百万円、仕入債務の減少額678百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は476百万円(前年同四半期は1,127百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出345百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,220百万円(前年同四半期は1,086百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出578百万円、長期借入金の返済による支出240百万円や配当金の支払額208百万円があったことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、第2四半期累計期間の業績を鑑み、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、2024年4月25日公表の「2024年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年9月20日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,383	5,044
売掛金	2,200	2,288
商品	8,621	8,834
その他	650	516
流動資産合計	17,856	16,683
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,749	7,538
土地	7,254	7,254
その他（純額）	3,532	3,295
有形固定資産合計	18,536	18,088
無形固定資産	1,472	1,505
投資その他の資産	3,183	3,073
固定資産合計	23,192	22,667
資産合計	41,049	39,351
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,876	6,215
電子記録債務	641	624
1年内返済予定の長期借入金	480	480
未払法人税等	320	386
賞与引当金	581	568
その他	3,372	4,516
流動負債合計	12,272	12,791
固定負債		
長期借入金	6,000	5,760
退職給付引当金	573	559
資産除去債務	3,100	3,123
その他	3,428	1,310
固定負債合計	13,102	10,753
負債合計	25,374	23,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金	1,585	1,585
利益剰余金	12,828	13,367
自己株式	△164	△578
株主資本合計	15,674	15,799
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	6
評価・換算差額等合計	—	6
純資産合計	15,674	15,806
負債純資産合計	41,049	39,351

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月21日 至 2023年3月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月21日 至 2024年3月20日)
売上高	47,022	48,956
売上原価	36,491	37,586
売上総利益	10,530	11,369
販売費及び一般管理費	9,901	10,137
営業利益	628	1,232
営業外収益		
受取手数料	70	76
助成金収入	25	25
支援金収入	82	—
その他	34	18
営業外収益合計	212	120
営業外費用		
支払利息	36	29
その他	15	22
営業外費用合計	51	52
経常利益	789	1,300
特別利益		
補助金収入	121	9
資産除去債務戻入益	37	—
退職給付制度移行益	177	—
特別利益合計	336	9
税引前四半期純利益	1,126	1,309
法人税、住民税及び事業税	138	313
法人税等調整額	129	84
法人税等合計	267	398
四半期純利益	858	911

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月21日 至 2023年3月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月21日 至 2024年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,126	1,309
減価償却費	757	709
長期前払費用償却額	2	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46	△12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,221	△13
補助金収入	△121	△9
退職給付制度移行益	△177	-
資産除去債務戻入益	△37	-
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	36	29
売上債権の増減額(△は増加)	△1,179	△87
棚卸資産の増減額(△は増加)	△179	△215
仕入債務の増減額(△は減少)	△481	△678
未払消費税等の増減額(△は減少)	29	16
その他	883	△420
小計	△610	628
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△35	△29
法人税等の支払額	△341	△251
補助金の受取額	51	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	△936	357
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△962	△345
敷金及び保証金の回収による収入	20	20
その他	△185	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,127	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△586	△240
自己株式の取得による支出	△135	△578
配当金の支払額	△135	△208
その他	△228	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,086	△1,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,150	△1,339
現金及び現金同等物の期首残高	6,200	6,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,049	5,044

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。